

# コハウチワカエデ

**Miq.**

ムクロジ目 ムクロジ科 トチノキ亜科 (クロンキスト体系: カエデ科)

ハウチワカエデの変種ではない。特徴は1年枝に毛が多い。ただし、夏を過ぎるとなくなることもある。春の葉はビロードのようであるが、後、洋紙質になる。地域によって普通の木で葉の小型がある。秋は橙色～赤いものまである。種子から育てるとよいが、接ぎ木、挿し木は高度の技術を要する。

原産地・分布: 日本

## 属 花産業必修1000属検定 C級

カエデ属: イロハモミジ、イタヤカエデ

個体番号: 2013P-0002\_3

導入元: 花卉研究室; 導入時の名前: *Acer sieboldianum*; 導入日: 2013-06-09; 由来: 野生; 採集地: Japan: 山梨県南都留郡富士河口湖町精進、県道71号沿い; 導入形態: 植物 (株の詳細なし)



Plant ID: 1130

千葉大学大学院園芸学研究科 2024-12-23